

議会だより

かみやま

第 34 号

2017. 8. 15

6 月定例会



< 5 月 21 日空海の道ウォーク柳水庵ポイント >

町長からの行政報告	3 頁
町事業の実施状況調査	7 頁
6 月定例会 一般質問	8 ~ 11 頁

6月定例会は、平成29年6月20日から26日まで7日間の会期で開催した。提出議案は平成28年度一般会計補正予算ほかの専決5件、29年度補正予算5件、条例の制定1件、条例の一部改正1件、請負契約1件、農業委員会委員の任命等人事案件15件を審議しすべて承認、可決、同意した。

一般質問では4議員が登壇し（8～11ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成29年6月定例会議案事項	掲載頁
第1日	諸報告 町長から行政等報告	3頁
	専決事項の説明と審議 【上程】【審議】【承認】 ・平成28年度一般会計・特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）補正一予算について ・神山町税条例の一部改正について ・神山町国民健康保険税条例の一部改正について	4・6頁
	平成29年度一般会計補正予算について 【上程】【審議】【可決】 平成29年度特別会計（国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療）補正予算について 【上程】	4～5頁
	神山町個人情報保護条例及び神山町情報公開条例の一部改正について 【上程】 神山町農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて 【上程】	4～5頁
第2日	休会	
第3日	町内視察 神領 足尾山町有林（南野間） 鬼籠野 お試しハウス（西分） 阿野 鳥獣捕獲檻（南養瀬）	7頁
第4日	一般質問 西崎哲夫議員 高橋和男議員 新居榮二議員 森本吉治議員	8～11頁
第7日	保留議案の審議 ・平成29年度特別会計（国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療）補正予算について 【審議】【可決】 ・神山町個人情報保護条例及び神山町情報公開条例の一部改正について 【審議】【可決】 ・神山町農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて 【審議】【可決】	4～5頁
	大桮地集合住宅基盤整備工事請負契約の締結について 【上程】【審議】【可決】	4頁
	人事案件 ・神山町農業委員会委員の任命について13件 【上程】【同意】 ・人権擁護委員候補者の推薦について 【上程】【推薦】 ・副町長の選任について 【上程】【同意】	6頁
	その他（議員派遣・委員会の閉会中の継続調査） 【上程】【可決】	

※第2日は議事の都合、5日・6日は休日により休会とした。

町長からの行政報告

湧水対策に

今年是小雨のため現在湧水状況が続いているので、町、社会福祉協議会より水を配っているお宅が4世帯ある。このまま続くと今まで経験したことのない湧水状況になるのではと心配している。対策として飲料水を取りに来ていただいた方には1回、1000Lまで無料でお渡しできることとしている。

観光振興

県東部14市町村とメディア、交通機関、ホテル、観光業者等から構成する徳島東部地域DMOの準備会並びに総会が開催された。県東部地域の観光振興を目的に設立され神山町も加入し連帯しながら観光振興に寄与した。

ドイツより

5月27日県が姉妹都市を結び10周年となる、ドイツのニーダーゼクセン州のブアイル首相、オネー長官はじめIT関連企業の方約40名が神山町を視察に訪れ、サテライトオフィス等を見学された。

森林環境税の設立

国において森林環境税の創設

の動きに明るい兆しがみえてきた、神山町においては86%を森林が占めており、山村、中山間地域においては貴重な財源でありながら、木材価格の低迷から山林に荒廃が進んでいる。そうした中環境国土保全、景観、水源の涵養等を目的とする税の導入に期待したい。

創造農村ワークショップ大会

文化庁主催で創造都市ネットワークの、創造農村ワークショップ大会が9月1日から2日にかけて神山町で開催される。同日関西広域連合の会議の一部も本町で開催されることが決まり、全国からの参加があり地域活性化や観光振興が期待される。

財政状況

一般会計では歳入総額51億7863万円で、歳出総額48億7444万円となった。実質収支額は1億7800の黒字となった。

国民健康保険会計は、歳入総額10億9805万円で歳出総額10億1569万円となり、実質収支額は8236万円の黒字となった。

簡易水道事業特別会計では、歳入総額1億6817万円で歳出総額1億6431万円とな

り、実質収支額は386万円の黒字となった。

介護保険特別会計では、歳入総額10億3003万円で歳出総額9億7157万円となり、実質収支額は5846万円の黒字となった。

後期高齢者特別会計では、歳入総額1億2108万円で歳出総額1億2086万円となり、実質収支額は22万円の黒字となった。

特に国民健康保険特別会計では一般会計からの法定外繰り入れをすることなく、適正な執行ができた。

国道、県道関係の予算

国道……道路改築事業
国道438号上分地区1億円、緊急地方道整備事業として新府能トンネル補修に4000万円、下分舗装補修工事6000万円、
県道……

石井神山線阿野地区道路拡幅に5000万円、同じく長代地区現道拡幅に1000万円、阿野から神領にかけての落石対策に3000万円、鴨島神山二ノ宮線地ノ平の現道拡幅に4000万円、神山川島線の現道拡幅に3000万円、神山国府線阿野橋整備に3億7800

万円、

局部改良工事

石井神山線現道拡幅に1900万円、神山鮎喰線の現道拡幅に400万円、鬼籠野国府線現道拡幅に400万円

総務費

コミュニティ助成事業として、広野地区チャレンジ神山推進協議会と上角夏祭り実行委員会へそれぞれ250万円ずつ、ステージ、椅子などイベント用品の購入。

森林管理推進事業

新たな森林管理技術としてドローンを活用し位置情報を用いた所有森林や、所有界の画像情報の取得や、作業の省力化が期待できることから、50ヘクタールで実証実験に要する費用を計上している。

土木費

大埜地集合住宅に木質バイオマスを使用する熱供給プラントを整備する費用を計上。完成後は各戸や共有施設に給湯や熱利用が可能となる。

教育費

避難所と指定している、下分、鬼籠野、阿川、広野の各公民館の非構造部材の緊急安全対策事業を実施する為の設計費を計上。(天井部材の落下防止)

補正予算・条例改正・請負契約・その他

平成29年度補正予算

一般会計（第1号）	補正額	1億9390万円（44億4690万円）
国民健康保険特別会計（第1号）	補正額	8236万円（10億9349万円）
簡易水道事業特別会計（第1号）	補正額	286万円（2億1263万円）
介護保険特別会計（第1号）	補正額	5906万円（11億4154万円）
後期高齢者医療特別会計（第1号）	補正額	22万円（1億2561万円）
予算合計	補正額	3億3840万円（70億2017万円）

（ ）は予算総額

平成28年度専決補正予算

一般会計（第7号）	補正額	8170万円（49億8093万円）
国民健康保険特別会計（第5号）	補正額	270万円（10億8797万円）
後期高齢者医療特別会計（第5号）	補正額	57万円（1億2172万円）
予算合計	補正額	8497万円（61億9062万円）

（ ）は予算総額

平成29年度補正予算・条例改正・請負契約等の主な内容		
総務課	◎平成29年度一般会計補正予算（第1号） ・庁舎等増改築基金積立金	8192万円
	・コミュニティ助成事業補助金（神領上角・広野チャレンジ）	500万円
	・番号制度対応システム改修委託料	251万円
	・熱供給施設整備工事（大埜地集合住宅、木質バイオマス）	6260万円
	◎神山町個人情報保護条例及び神山町情報公開条例の一部改正について ・国による個人情報保護法等の改正による一部改正	
	◎大埜地集合住宅 基盤整備工事請負契約の締結について 工事箇所 神山町神領字大埜地	
	契約金額	60,372,000円
	請負業者 株式会社 昇旭建設 神山町神領字東野間2番地1	

平成29年度補正予算・条例改正・請負契約等の主な内容

税務 保 険 課	◎平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
	・一般被保険者療養給付費	2936万円
	・一般被保険者高額療養費	300万円
	・財政調整基金積立金	5000万円
	◎平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
	・後期高齢者医療広域連合納付金	22万円
住 民 課	◎平成29年度一般会計補正予算（第1号）	
	・電子計算機システム修正委託料	54万円
	・町消費者協会補助金	5万円
健 康 福 祉 課	◎平成29年度一般会計補正予算（第1号）	
	・介護保険特別会計繰出金	160万円
	・年金生活者等支援臨時福祉給付金過誤納償還金	1023万円
	◎平成29年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	
	・介護給付費準備基金積立金	2745万円
	・国庫支出金等過年度分返還金等	3055万円
産 業 観 光 課	◎平成29年度一般会計補正予算（第1号）	
	・佐那河内神山地域鳥獣害防止広域対策協議会負担金	138万円
	・森林管理推進事業負担金（ドローン）	137万円
	◎神山町農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて	
建 設 課	◎平成29年度一般会計補正予算（第1号）	
	・県営林道立木等補償費	40万円
	・治山工事（川東・南上角）	380万円
	◎平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	
	・水道管理費（倉目送水ポンプ、各施設修繕材料代）	286万円
教 育 委 員 会	◎平成29年度一般会計補正予算（第1号）	
	・理科教育等設備備品（小学校2校）	57万円
	・理科教育等設備備品（中学校）	60万円
	・避難所緊急安全対策設計業務委託料	276万円
	・給食用自動車等購入（保冷库増設）	40万円

平成28年度補正予算・条例改正（専決）	
総務課	◎平成28年度一般会計補正予算（第7号） ・庁舎等増改築基金積立金 1億7859万円
	・お試し住宅整備補助金 △1,700万円
税務保険課	◎平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号） ・一般被保険者療養給付費 1312万円
	・退職被保険者等療養給付費 △692万円
	◎平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号） ・後期高齢者医療広域連合納付金 57万円
	◎神山町税条例の一部改正について ・改正内容…国による地方税法の改正による一部改正 ◎神山町国民健康保険税条例の一部改正について ・改正内容…国による国民健康保険法施行令の改正による一部改正
健康福祉課	◎平成28年度一般会計補正予算（第7号） ・障害者自立支援介護給付費 △454万円
	・更生医療給付費 △219万円
	・老人保護施設措置費 △1157万円
	・子どもはぐくみ医療助成費 △390万円

人事案件

○神山町農業委員会委員の任命

任期 平成29年7月20日から

平成32年7月19日

相原利章氏 阿野字松尾

河野宏吉氏 神領字西青井夫

森 昌槻氏 神領字東大久保

森本孝夫氏 阿野字神木

竹本公三氏 下分字今井

武市佐市氏 下分字竹平

加藤宏行氏 下分字地野

田中久博氏 神領字谷

田中一重氏 阿野字地野々

森 三千子氏 阿野字白嶽

佐々木善兼氏 鬼籠野字一ノ坂

井上善司氏 上分字大中尾

中西隆子氏 鬼籠野字黒河

○人権擁護委員候補者の推薦

任期 平成29年10月1日から

平成32年9月30日

高橋三枝子氏 鬼籠野字東分

○副町長の選任

任期 平成29年7月1日から

平成33年6月30日

大野富英雄氏 阿野字大地



名西消防組合議会
平成29年第1回臨時会

第1回臨時会は、6月30日に石井町役場議場で開催した。

本臨時会では、議案1件を審議し、原案どおり可決した。

議案第5号

議会の議決に付すべき財産の取得について

・購入の目的
消防ポンプ自動車（CD-1型）の更新

・配置先

石井消防署

・動産の種類

災害対応特殊ポンプ自動車

（CD-1型）1台

・購入金額

31,968千円

（内消費税2、368千円）

・購入先

阿南市日開野町九反ヶ坪

123-1

竹内産業 代表者 竹内伸二

・契約の方法

随意契約

町内視察

町事業の実施状況調査

―お試しハウスほか―

6月23日、6月定例議会において、現在進められている町事業の実施状況等について調査を行った。

午前中は、梅雨の雨上がりの町有林（神領字南野間の県行造林跡地）で行っている造林事業



足尾山町有林（県行造林跡地）での間伐事業

を視察した。町有林を含めた面積85・3haに植えられているスギ約50年生を、国が示す森林経営計画に基づいて間伐を実施している。伐採跡には、12種類の広葉樹林が植えられている。

午後は、完成した鬼籠野字西



鬼籠野字西分でのお試しハウス

分の「お試しハウス」を視察した。神山つなぐ公社の担当者赤尾氏より、施設の特徴、利用方法等について説明を聞いた。この施設は移住者と地域の双方が、互いの相性を確かめられる施設であり、古民家を改修したもので、居住部分はシングル、カップル、ファミリーの3部屋がある。

最後に阿野字南養瀬地区に設置されている鳥獣捕獲檻（7m×3m×2m）を視察した。ハコワナ仕様の檻であり、国の補助金2分の1の移動組立式囲い檻である。佐那河内神山地域鳥獣害防止広域対策協議会が補助事業体となり、現在町内には6箇所を設置している。

（榎本雄一）

一般質問



西崎哲夫 議員

質問①

地方創生関連事業関係者は多様な手法で、事業説明活動をしているが、町民目線からすると理解出来ない部分が多くある。もう少し事業の明瞭化を図るため、詳しく事業を網羅した紹介冊子を作成して各戸に配布してはどうか。

答弁（町長）

- 町民への広報手法として
- 1、広報かみやまでその都度まとめて掲載している。
 - 2、つなプロについても情報発信している。
 - 3、つなプロの発表会も開催している。
 - 4、鮎喰川すまい塾を開催して

① 地方創生関連事業の広報対応について ② 運転免許証、自主返納者の対応について

いる。

5、町内各種団体等で要請があれば説明している。

6、町民の見学バスツアーによる広報。

こうした手法効果を考えると、紙媒体手法よりも、現行手法を推進したい。

質問②

高齢者の車輛免許自主返納者に対する地域福祉行政対応について。

自主返納の聞き取りを、詳しくする機会があった。

(イ) 地域社会での、返納者との課題の共有について。

地域社会では昔から、相互扶助の絆があり、近所住民が地域外へ車で出る時、何か用事ないか等と声掛けがあったこと、課題の共有

が大切だと思うが。

(ロ) 公的交通対応以外での、地域福祉としての、きめ細かな対応について、これからは返納者の数は増える。民生委員さん等を核として、地域福祉

答弁（町長）

面での対応が必要でないか。

交通弱者対応として、タクシー助成、公的交通の助成は実施している。きめ細かな対応が出来ているとは云い難い。交通弱者への観点から、どういう対応があるのか、調査検討したいと思う。地域社会の相互扶助の機運を醸成していくことも大事だと思っている。



免許証自主返納を拒む、厳しい山間集落上分地区

一般質問



高橋和男 議員

質問
国道438号城西神山分校前の道路拡張工事は出来ないのか。

答弁（町長）

県管理の一般国道です。管理者は徳島県知事です。神山町内を通っている重要路線ですので県当局へ強く要望を重ねたい。



国道438号神山モーター前

- ① 国道438号神山分校前拡張工事について
- ② すだちの周年栽培（出荷）について
- ③ すだちの古木（樹齢100年以上）発掘調査について



国道438号城西高校神山分校前

県当局におかれましても神領工区はすでに完了したということである。

再問

神山分校前の国道は通学路です。朝のラッシュ時は狭いところに気を遣われている。早急に早期着工を望む。

質問2

すだち出荷は、現在7月中旬頃から無加温ハウス栽培（出荷）、8月上旬から9月末までの路地出荷、10月から翌年の3月上旬まで冷蔵すだちの出荷があるが、日本一の産地にもかかわらず3月中旬から7月上旬まで栽培（出荷）されていない。奨励措置をとり、一年中出荷ができる体制がとれないか。

答弁（町長）

神山町は現在露地、冷蔵の大産地である。ハウス栽培を振興する場合は、特に超加温を振興する場合は燃料代の問題が一番大きい。神山町はやっと森林ビジョンをうち立ててチップボイラーを集合住宅に設置する。これをハウスすだちに利用したいと考えている。

質問3

現在、鬼籠野東分には、樹齢200年以上のすだちの古木が有名だが、町内には100年以上の実生すだちの古木が現存しており、発掘調査し栽培されたすだちを付加価値を付けた販売、または観光資源としてはどうか。

答弁（町長）

かつての先人が苦勞して、日本一の産地形成されたことについて、本当に頭の下がる思いである。古木の発掘調査と付加価値を付けての販売ルートを考えてみたいと思う。

再問

すだちの古木は数が少ないので、インターネットを使って販売して1kg当り五千円とか1万円販売してはどうか、収穫量が少ない分付加価値をつけて収穫時の写真とか、酢も酸味もまさに成木よりはまるやかという特性があるそうで、年をかさねたすだちの古木も人間と一緒に、年をかさねるとまるやかになれますように、あやかりたいものである。

一般質問



新居榮二 議員

質問①

神山町でも自主防災の機運が高まっているが、町内での推進状態がどのようになっているか。また、避難場所、避難の仕方、逃げ場所をどのように町として指導、マップなどを作成しているのか。

また、防災無線について、災害が起こって電気が使用できなくなったときに自家発電装置などの設置ができているのか。

答弁（総務課長）

町民の生活様式の多様化や、少子高齢化の進展、さらには核家族化、単身世帯の増加等世帯構成の変化等様々な要因によって、社会とのつながりや近隣との結びつきが神山でも希薄になってきつつある。地域コミュニティの崩壊は地域の活力だけでなく地域の安心安全を脅かす原因となることから自主防災活動をむしろコミュニティ維持、復活の重要な切り口と位置づける

① 自主防災組織について ② ふるさと納税について ③ 株式会社神山温泉について

積極的な視点が必要かと思っている。

自主防災組織の組織数は、30組織、1500名で、組織率は、平成29年4月で59・7%と組織率は順調に上がってきているが、まだまだ今後

とも上げていかなければと思っている。南海トラフ巨大地震のマップ対応については、土砂災害ハザードマップを1年前に全戸に配布をし、その裏面に、南海トラフ巨大地震の震度分布図、地震発生時の避難所等を掲載している。



役場の防災

無線は、全国瞬時情報システム(J-ALERT)と連動し、地震発生時やミサイルの発射情報も放送される。また

地震発生時や台風などの停電時にも電源を確保しており、72時間対応できる。

質問②

地域の特産品が返礼品としてもらえることで人気が高まった。地方自治体への寄付金が徳島県内24市町村では最大1億5,000万円余りの収入格差がうまれている。当神山町ではふるさと納税件数、納税額、交付税補填後の実質収支はどれくらいか。

答弁（総務課長）

ふるさと納税の制度はふるさとや地方団体の様々な取組みに対する応援する気持ちを形にする仕組みとして子育て支援、教育、防災といった地域活性化に資する制度として全国各地で展開をされている。神山町では、寄付金の使い道として、小学校の机イスの購入、スタヂ座の活動費の助成、ハザードマップの作成、消防備品の配備など様々な経費にあてている。返礼品については、季節感を感じていただけの特産品を送った。今年度4月分よりご寄付いただいた金

額の3割を遵守するようにし、今後については、金額に応じた返礼品をお送りできればと、検討中である。

質問③

町が経営診断の利用を計画しすすめているが、その進捗状況は。また、大型バスが通行できる進入路について、北上角線は3月末の工期内に完了したが、本上角の温泉の進入路の工事が工期内に完了できないのはなぜか。

答弁（副町長）

経営診断の進捗状況ですが、今年4月に東京の業者と契約し、宿泊者数や稼働率などの各種統計のデータの分析をして、全体の4割程度終了している。今後は、神山温泉などの従業員へのヒヤリングなどの現地調査や対象施設の収支の分析などを行い、施設改修や設備投資を含む事業計画を提案していただく予定である。進入路の拡張工事が遅くなっている理由ですが、流末の処理施設の変更、残土処理場の変更や温泉及び周辺関係者への安全対策で交通整理員の計上などの実施設計の見直しにより発注が遅れた。現在第一分割は完了し、第二分割舗装工事を実施している。イベント広場と進入路の同時施工ができないので、工事の完成は9月末の予定である。

一般質問



森本吉治 議員

質問①

鳴門市が今年度予算に行方不明者の捜索にドローンの購入予算が計上されていた。上空から赤外線センサーを搭載し生体反応を感じし行方不明者を発見することのこと。神山町でも数年に1度くらいの割合で消防団が行方不明者の捜索に出動している。急傾斜地などもあり捜索も危険を伴うので、広範囲の捜索が可能ならドローンを購入する予定はないか。利用する頻度は少ないと思うので近隣町村（勝浦、上勝、石井、佐那河内）で共同利用してはどうか。

答弁（町長）

神山町でも何年間に一度くらい行方不明者の捜索がある。赤外線センサーを搭載すると1機

- ① ドローンの活用について
- ② 防犯灯のLED化の進捗について
- ③ 広野小学校空校舎の今後について

170万円ぐらいになる。

操縦操作が難しく機体が小さいだけに風の影響を受けやすく本町の場合



では山間部が多く気流が乱れやすくなるなどの問題点がある。また町単独となると使用頻度は考えれば難しい。しかしいろんな手立てを考えておく必要がある。考えられるのは名西消防組合に購入することであるが、これは石井町とも連携しながら考えなければならぬので相談してみたい。

質問②

町では防犯灯のLED化を進

めているが、現在町内にはいくつかの防犯灯、街路灯が存在するのかわ？ 事業としていつ完了するか？ また地域によっては県道の街路灯の維持管理を地元負担をしているところもあれば、地元負担なしで明るい街路灯を恩恵に浴しているところがあり、不公平感を感じるがこの点はどうするのか。

答弁（総務課長）

防犯灯の台数、設置場所について神山町に登録、未登録のもの、商工会が設置したものを含め806台を確認している。7月が補助申請の期限となっており、急ピッチで進めている。8月に補助採択の結果が判明する。結果を受けて年明けから工事にかかれるよう進めている。尚、電気代等の管理については町の管理にしたい。

質問③

本年4月に広野小学校が神山東中学校に移転し、旧広野小学校が完全に空き校舎となっている。昨年地元住民に利活用の希望を聞く会合を広野公民館で開催し、利活用のプラン、アイデアを聞くことができたが、今後行政としては空き校舎の利活用についてどの様に考えているのかを尋ねる。時が経つにつれ利活用への想いが失せていくのが心配になる。

ここ1、2年の内に行政からの利活用の案を示していただけないかと思うが。

答弁（町長）

昨年地元の皆様から意見を聞く場を持っていただいたが、意見がさまざまで、なかなか収斂された計画は未だ至っていない。当初の構想としては1階部分には学童保育を始め、事務所、サテライトオフィス系、あるいは地域社会に開かれたような利活用を、2階部分については若い人が増えるような若者向け住宅にリフォーム、出来たらいいのかと考えているが、早く煮詰めて結論をだしたい。

監査委員視察研修

地震1年後の熊本を訪ねる

勝名地区5町村監査委員10名と事務局5名で熊本県阿蘇郡西原村と玉東町、御船町の3町村を訪問。道中岡山から熊本までは新幹線で2時間30分と時間的に非常に短時間で到着したことに驚いたのと、車内アナウンスが本州山口県までは、日本語と英語でのアナウンスであったのが、福岡県（九州）に入ると韓国語と中国語に替わったことで、韓国、中国方面からのインバウンドがいかに多いかということが印象づけられた。さて、最初の訪問先は熊本駅から阿蘇方面へ45分熊本空港近く人口7,049人の西原村を訪ねた。道すがら災害復旧用のダンパーが多く見受けられ、山肌



熊本県御舟町での視察研修

には地震による崩壊の跡が何箇所も見受けられたし、1年後もブルーシートの屋根が残っているし、仮設住宅団地が多く見受けられた。村役場では山田係長より昨年4月16日の地震の様子

や今なお余震が続いていること、475世帯、1,341人が仮設住宅で生活をしていること。村内には布田川断層が走っている。数年前より発生対応型防災訓練をしていた。そのお陰で消防団や地域住民で数名の方を救出することもできたと発生対応型訓練の必要性を認識させられた。

翌日は県北東部になる玉東村と熊本市の南東16キロの場所にある御船町を尋ねる。

玉東町は人口5,264人。西南の役で薩摩軍と政府軍との激戦地として知られる田原坂のある町である。この町の代表監査委員、一瀬さんは元熊本産業交通(株)での経験を生かし年間300万円の赤字を出していた町内の道の駅を、600万円の黒字に回復させたことで引退後代表監査委員に選任されたとのこと。定期監査の報告、監査基準、年間監査スケジュールの説明を受ける。両町の監査委員と



西原村役場前商工会館震災のようす

も職員の残業時間の数字を気にかけていた。特に昨今残業時間が社会問題となっており、公務員の残業時間にも目を光らせていた。また、例月監査の日数も徳島県下より多い日数をかけて監査をしており、町によって監査の仕方には多少の違いがあるが、おしなべて、熊本県の監査委員は熱心であると感じた。

(森本吉治)

全国町村議会議長・副議長研修会に参加

去る、5月31日、6月1日の2日間東京、中野サンプラザホールで行われた研修会に全国から約1,400名、県下16町村の議長・副議長とともに参加した。研修会初日は12時30分より全国町村議会議長会会長、飯田徳昭氏の開講挨拶のあと（公財）地方自治総合研究所主任研究員今井照氏より「大災害における自治体と議会の使命」と題し講演があった。災害時における議会・議員の役割として事前に行動ルールを決めておく。災害後は情報収集・共有・発信が重要であり、被災地・被災者支援が中心となる。また、特別委員会を設置して政策提案をする事。復興期は計画策定へ議会の関与と施策へ民意を反映した政策提案を行う。最終的に震災検証をする。

2題目は、北海道浦幌町議会議長田村寛邦氏による「議会の活性化！政策形成マネジメントサイクルと議員のなり手不足の

検証（身の丈にあった活性化から一歩一歩前進する議会へ）」と題した講演であった。平成27年4月の統一地方選挙に於いて浦幌町議会議員選挙定数11人、立候補者10人、欠員1人で無投票当選となった。記録の残る1947年以来初めてとなる町議選挙の定数割れとなった。これを受けて町議会は議会活性化に取り組み、議員なり手不足の検証を、行い結果を国に意見書として提出した。議員なり手不足は全国共通の問題である。

3題目は、京都府精華町議会議長杉浦正省氏 同議会運営委員会委員長佐々木雅彦氏 両氏による「精華町での議会活性化の取り組みと期待される議会の姿」と題しての講演であった。議会活性化は全国自治体共通の課題であり一過性でなく、持続的に取り組む永遠の課題である。議員一人ひとりが情熱と問題意識を持ち議会活動をするこ

議会及び議員活動の活発化と充実のため4つを柱とする議会基本条例を制定した。1、町民参加・町民との協働 2、情報公開・責任説明 3、議会権能の發揮 4、政策提言・提案精華町議会の特徴は、前例にこだわらず『まず、やってみよう』の精神。

4題目は、新潟県立大学国際地域学部 准教授 田口一博氏による「議長・副議長のあり方」と題しての講演であった。1、会議事務と行政事務、議会原則、会議技術の意義、2、議会代表としての活動 3、地域の政治家のリーダーとしての活

動 4、正副議長の議会経営の4分野にわたって詳細に説明をして頂いた。議会の最も基本的な重要な部分を改めて認識する機会となった。

研修2日目は、移住・交流情報ガーデンを視察研修。当機構は平成18年総務省の研究会として発足し平成26年に（一社）移住・交流推進機構となった。機構の概要と活動方針について総括参事 田染賢一郎氏（出向元株式会社ぐるなび）から説明を受けた。現在の活動状況について茨城県から出向の高安芳忠氏等3名から説明を受けた。『都市から地方への移住、都市と農山漁村地域の交流を推進し、人口減少社会における地域の活性化に寄与する。』と云う、活動方針の元、メンバーは民間企業と地方自治体から集まった10名のスタッフで運営している。当機構で行った地域おこし協力隊マッチングフェア等を通じ全国444自治体で1500人以上の地域おこし協力隊が活動中である。

今回の視察で得た知識を今後の議会活動に生かしたい。

（細井成富）



移住・交流情報ガーデンでの視察研修

神 山 の 風 景

下分七夕飾り



(写真提供 栗飯原 一氏)

議会の動き

- 7月 4日 四国四県町村監査委員協議会研修会
- 6日 指定金融機関監査
- 6日 広報調査特別委員会
- 12日～14日 県外行政視察研修
奥出雲町・飯南町・雲南市
(島根県)
- 19日 広報調査特別委員会
- 25日 町村議会議長会定例会
- 8月 4日 徳島県町村議会議員研修会
- 7～9日 決算審査
- 22日 国道193号倉羅トンネル
開さく促進期成同盟会総会
- 23日 議会広報作成講座
- 24日 国道438・439号並び
に主要地方道山城東祖谷山
線改良促進期成同盟会総会
- 9月 上旬 議会運営委員会
- 10日 目黒さんま祭り
- 中旬～下旬 9月定例会
- 26日 四国四県町村長・議長大会

編集後記

今年の梅雨入りは、ほぼ平年どおりであったが、梅雨前半は深刻な水不足に見舞われ、田んぼの代かきもできないくらいであった。しかし、梅雨後半は、町内各地で七夕飾り一色で賑わっていた笹飾りも、台風3号の到来で一部撤収となるなど天候に悩まされた。

また、日本の各地では、毎年大きな水害に見舞われ、悲惨な思いをされている方がたくさんいます。その中で、本町の七夕飾りは、町内各地で思考と特徴を活かして飾り付けられ、下分地区に於いては、七夕飾りと発展し町内外はもとより県外からの来場者もあり、毎年盛大に開催されますこと各種団体の皆様には、お慶び申し上げます。

また、各地域の皆様のご労苦に対し敬意を表すとともに更に、絆を深め永く継続発展することをお祈りいたします。
(中西富士男)